

資料 1

令和元年度第2回出雲市行財政改革審議会資料に関する各委員からの意見について

資料番号	意見
資料1 行政センターの現状及び今後の体制について	<p>①「大きな問題もなく1年が経過した」とありますが、市民の声は、行政センターへどのくらい届いているのでしょうか？</p> <p>②「必要に応じて適時適切な見直しを図る」とあるが、その判断はどのようになされるのか？</p> <p>③中長期的には、「本庁に一本化すべき」という考え方と、「周辺部住民の思い等に配慮しつつ、本庁から遠くへ出向いて業務を行わなくても行政センターが肩代わりするのが合理的」という考えで行くのか、よく見えない。</p> <p>④それぞれの地域によって課題は異なると思われるが、今後の運営体制について明記されていることを（検証・見直し等）実践し、地域住民に役立つ行政センターとしていただきたい。</p> <p>⑤地域のまちづくりについて、行政センターの人数が少なくなっていく現在、地域の声や課題を本庁担当課につなぎ返ってくるような行政と地域をつくりたい。つくってほしい。</p> <p>⑥地域における日常的な道路等の維持業務のように住民のニーズに迅速に対応するためセンターには専門的な職員の配置が必要だと考えます。</p>
資料2 令和2年4月における組織・機構の見直しについて	<p>①組織の細分化も大切ですが、部や課の横の連携をしっかりとしたものにして頂きたい。</p> <p>②令和2年4月の見直しはこれでよいと思う。ただ、そもそも論としては、部・課の数が多すぎるのでは？細分化した結果（外部からは）一つのことでも数課に話さなければならなかったり、ある案件が生じたとき、どの部の何課が所管かわからないケースが出たりすることがある。</p>

<p>資料3 民間譲渡等の状況について</p>	<p>①本来、公が運営すべきものをしっかりと見極めた上で、大胆な改革が必要では？</p> <p>②率直に言って、スピード感に欠ける。</p> <p>③一方、各施設がつくられたときの細かい事情等について、きちんと把握して進められているのか。残念ながらそうした神経の細やかさは職員から感じられない。</p> <p>④譲渡の方法は公募による方法ですか。</p> <p>⑤平田農業就業改善センターは久多見地区の指定避難所となっています。民間譲渡される場合に、指定避難所としての条件で譲渡される考えですか。また、この施設は耐震補強が必要と聞いていますが、今のままで譲渡されますか。</p>
<p>資料4 業務効率化に向けたAI・RPAの導入状況について</p>	<p>①AI・RPAの導入によって、どのくらいの経費削減ができたのか、結果を公表して頂きたい。</p>
<p>資料5 用途廃止した学校施設に係るサウンディング型市場調査の実施について</p>	<p>①閉校後の校舎の利活用は、その地域住民の切なく願いである。学校を失った分、利活用により、地域に新たな活力が生まれることを望みます。</p> <p>②市に依存するやり方は極力排すべき。</p>
<p>資料6 出雲市における多文化共生の取組について</p>	<p>①本市における「多文化共生」の取組が、単に人口増加や経済効果だけにとどまることなく、すべての市民が皆平等に“官”の恩恵をうけられる自治体を目指して行ってほしいと願っています。</p> <p>②私も、自ら属する団体において、NPO法人等と協力しながら、市の方向性に協調した取組を行っている。さまざまな相談等が入ったとき、言葉の問題で困ることが多いが、即時に対応してもらえる人・方法があるとありがたい。</p> <p>③外国人向けモデル農園について 設置された農園の積極的なPRと借り手募集を地元と連携し積極的に推進、展開していただきたい。</p>